

宮崎学園短期大学 養成する人材像, ディプロマポリシー, カリキュラムポリシー, アドミッションポリシーの相関図

養成する人材像

本学は「礼節を知り、勤労を尊ぶ人材の育成」を基本目標とし、豊かな教養と職業技能を備えた人物を育て、すぐれた人材として世に送り出すことを願って設立された大学である。建学の精神である「礼節・勤労」の「礼節」では、自他の人間性を尊び、他者の立場に立って物事を考えることを目指し、「勤労」の精神では、何事にも真摯な態度で臨んでいくことを目指している。現代は、VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代と言われているが、現代においてもなお、この建学の精神「礼節・勤労」は変わらない普遍的なものである。本学での学びの根本は人類の平和を願うこと、そして私たち自身が人として成長していく事である。保育科及び現代ビジネス科のさまざまな学修を通して豊かな人間性と専門知識を身につけ、他者と協力しながら社会の一員としての役割を果たすとともに、よりよい方向へ進むための思考力と実践力を兼ね備え、広く社会に貢献できる者が、本学の養成する人材像である。

ディプロマポリシー

I

自他を大切にし、礼儀正しく行動できる。(礼節、人間尊重の精神)

II

自己と環境をより良くできる。(勤労、問題解決力)

III

適切に情報を集め、しっかり考え、それを分かりやすく説明できる。(リテラシー)

IV

多様な人々とコミュニケーションをとり、協力できる。(協働能力)

V

大学で学ぶ専門的知識や技能を実際場面で活用できる。(実践力)

保育科

自己を正しく評価し目標を立て、自律的に成長できる。(自己の成長)

(I, II, III, Vに対応)

子どもの発達にかかわる専門的な知識と技術を備え、実際に子どもの主体性を引き出す保育を追求することができる。(子どもの育ちを支える専門性)

(II, III, Vに対応)

他者とのコミュニケーションによって課題の解決に向けて協力しあうことができる。(協働能力)

(I, II, IVに対応)

現代ビジネス科

自己を正しく評価し目標を立て、自律的に成長できる。(成長力)

(I, IIIに対応)

ビジネスの基礎を理解し、社会人基礎力を身につけ、変化する社会に対応できるビジネス実践力を備えている。(対応力)

(II, III, Vに対応)

他者とのコミュニケーションによって課題の解決に向けて協力しあうことができる。(協働能力)

(IV, Vに対応)

※ 各学科カリキュラムマップ参照

カリキュラムポリシー

本学の建学の精神「礼節・勤労」に基づく人間性豊かな人材を育成するために、人間尊重の精神と問題解決力を身につけることを目的とした全人的教育、自己・社会理解に基づく職業意識の形成を目的としたキャリア教育、種々のリテラシーの獲得を目的とした教養教育科目を配置する。

全学科共通の一般教育科目及び各学科に設置する専門教育科目では、教養的知識及び専門的知識の習得を目指すだけではなく、少数演習型、学生参加型、地域参加型の授業実践を通して、学生のコミュニケーション力、協働力の育成に努める。

各学科の教育目標に示された人材を育成するために、各学科及びコースに設置する専門教育科目では、演習、実習、インターンシップを通じた実践的な学びを重視することで、実際場面で活用できる専門的知識や技能を高め、地域社会を担い、地域社会に貢献できる人材を育成する。

アドミッションポリシー

本学で豊かな人間性と専門知識を身につけたいという意欲のある人。(意欲)

本学で学ぶに必要な基礎学力を備えている人。(基礎学力)

自他を大切に、自己と環境をよりよくしようとしている人。(礼節・勤労)

適切に情報を集め、それをもとにしっかり考え、考えたことを分かりやすく表現し伝えようとしている人。(リテラシー・自己表現)

多様な人々とコミュニケーションをとり、協力しようとしている人。(協働能力)